

<資料提供>

平成30年9月14日

いしかわの工芸文化魅力発信・向上プログラム
講演会「いしかわの工芸の巨匠に聞く」の開催について

兼六園周辺文化の森等活性化推進実行委員会では、県民に本県の工芸文化への関心、理解を深めてもらうため、また石川の工芸文化の魅力を国内外に発信するため、本県が誇る「人的資産」である各分野の「巨匠」に、これまでのご自身の歩みや工芸の魅力についてお話しいただく講演会を、2020年度まで毎年開催することとしております。

今回は、輪島塗に携わる人間国宝のお二人、前史雄氏と小森邦衛氏にこれまでの歩みや輪島塗の魅力などをお話しいただきます。

- 1 日時 : 平成30年9月24日(月・振) 13時30分～15時
- 2 場所 : 石川県立美術館ホール(定員200名)
- 3 講師 : 前史雄氏(重要無形文化財「沈金(ちんきん)」保持者)
小森邦衛氏(重要無形文化財「髹漆(きゅうしつ)」保持者)
- 4 内容 : 講師のお二人に輪島塗の魅力やこれまでの歩みをお聞きします
- 5 申込 : 電話 文化振興課(076-225-1371)まで(平日9:00～17:00)
WEB 兼六園周辺文化の森HP(<http://kenrokuen-bunkanomori.com/>)
おすすめイベント内のお申込みフォームから

<主催>兼六園周辺文化の森等活性化推進実行委員会(事務局:県文化振興課)

※この講演会は、9月15日(土)～10月14日(日)に石川県立美術館で開催される、企画展「URUSHI 伝統と革新」の関連イベントです。

(事務担当)
県民文化スポーツ部文化振興課
担当:乾、高川
TEL:076-225-1371(内線3851)

いしかわの工芸文化魅力発信・向上プログラム

いしかわの 工芸の巨匠 に聞く



人間国宝であるお二人
「前史雄」氏と、
「小森邦衛」氏の
これまでの歩みや
輪島塗の魅力などを
語っていただきます。

日時 平成30年9月24日(月・振) 13:30~15:00
(開場 13:00)

会場 石川県立美術館ホール (金沢市出羽町2-1)

講師

前史雄氏



重要無形文化財
ちんきん
「沈金」保持者(H11認定)
(人間国宝)

石川県輪島市出身

昭和15年生

石川県立輪島漆芸技術
研修所長

ちんきん
※沈金：漆塗面に沈金のみと呼ばれる刃物
で文様を彫り、漆を擦り込んで、金銀箔、金
銀粉、顔料を埋め込む装飾方法

小森邦衛氏



重要無形文化財
きゆうしつ
「髹漆」保持者(H18認定)
(人間国宝)

石川県輪島市出身

昭和20年生

石川県立輪島漆芸技術
研修所主任講師

きゆうしつ
※髹漆：漆塗を主とし、素地の材料の選択か
ら、下地工程、上塗、仕上げ工程に至る幅
広い領域にわたる漆芸の根幹技法

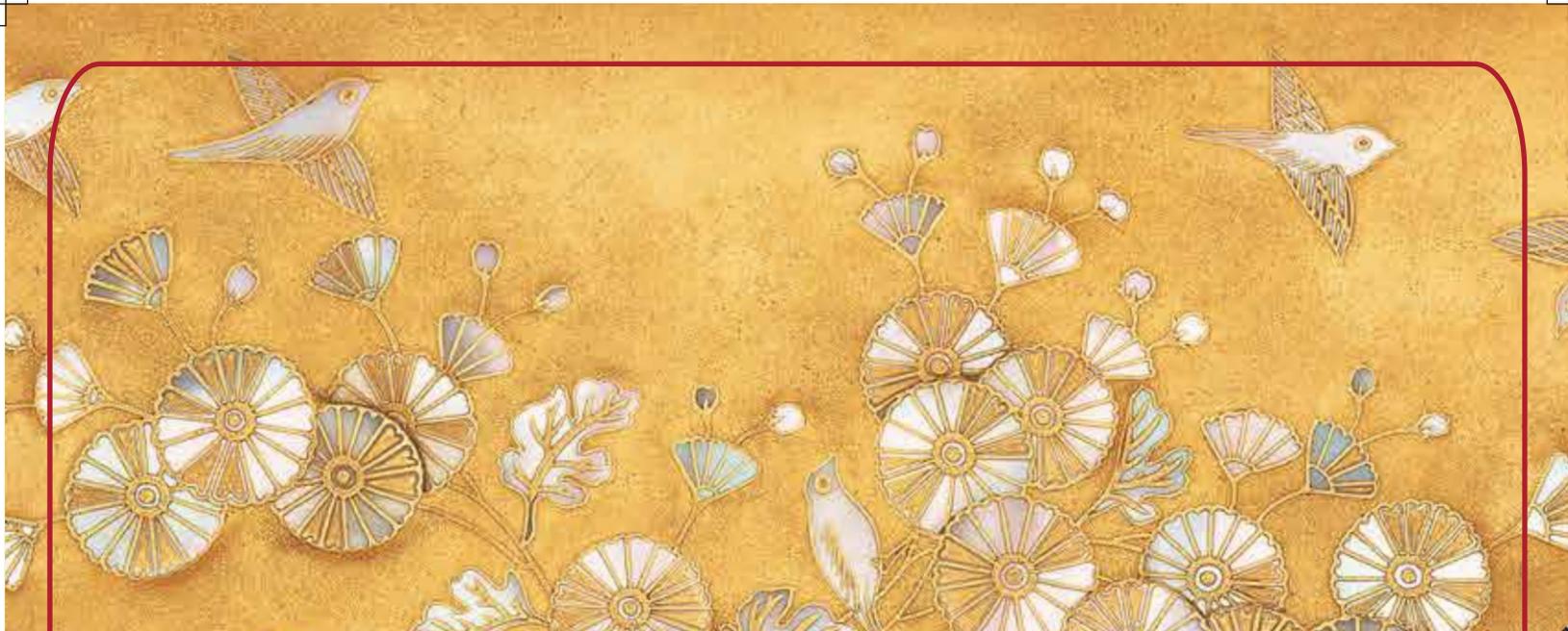
進行 秋本 和美氏(フリーアナウンサー)

定員 200名(先着順)

申込 電話で…石川県文化振興課(☎076-225-1371)まで
ネットで…兼六園周辺文化の森HPのおすすめイベント内
お申込みフォームよりお申し込みください



お問合せ: 兼六園周辺文化の森等活性化推進実行委員会 TEL 076-225-1371



URUSHI

伝統と革新

Tradition and Innovation

平成30年 会期中無休

9月15日(土) — 10月14日(日)

午前9時30分から午後6時(最終入館30分前)

料金
一般 1000円(800円) 大学生 800円(600円)
高校生以下無料 ()内は20名以上の団体料金

主催
石川県立美術館／公益社団法人日本工芸会
NHK金沢放送局／NHKプラネット中部
特別協力 東京国立近代美術館

石川県立美術館

Ishikawa Prefectural Museum of Art

金沢市出羽町2-1
電話 076-231-7580

上:小川松民《籬菊螺鈿蒔絵硯箱》
MOA美術館蔵

下:松田権六《赤とんぼ蒔絵箱》
京都国立近代美術館蔵
(9月30日まで展示)



URUSHI 伝統と革新

Tradition and Innovation

本展は、漆芸作家たちの登竜門となっている日本伝統漆芸展の第35回を記念して開催されます。江戸時代末期から活躍した近代の名匠から松田権六ら歴代の重要無形文化財保持者いわゆる人間国宝、そして現在活躍する若手作家まで93作家137点を紹介します。特に石川県出身の不世出の名匠、松田権六の作品は11点を展示。当館の他、そごう美術館、MOA美術館を巡回しますが、松田の代表作である《蓬萊之棚》と《鷺蒔絵棚》(広島県立美術館蔵)の2点を同時に展示するのは当館のみです。松田をはじめ、我が国の漆芸界を代表する作家の作品を通し、漆芸作品が持つ魅力、漆芸の歴史、多様性を紹介します。会期中一部展示替があります。



赤地友哉《曲輪造毬形洗朱喰籠》
ポーラ伝統文化振興財団蔵



玉椿象谷《彩色蒔摺料紙硯箱》(重美)
香川県立ミュージアム蔵



音丸耕堂《彫漆カトレヤ菓子器》
石川県輪島漆芸美術館蔵



増村益城《乾漆朱菊花盤》
資生堂アートハウス蔵



白山松哉《蝶牡丹蒔絵沈箱》
MOA美術館蔵



松波保真《乾漆千段巻中次》
東京国立近代美術館蔵



高野松山《栗鼠模様木地蒔絵手箱》
京都国立近代美術館蔵 (9月30日まで)



▼ 関連イベント いずれも石川県立美術館ホールにて (先着 200名)

9.24(月・振) 13:30～

いしかわの工芸文化魅力発信・向上プログラム 講演会
「いしかわの工芸の巨匠に聞く」

前 史雄氏 (重要無形文化財「沈金」保持者)
小森邦衛氏 (重要無形文化財「髹漆」保持者)
秋本和美氏 (フリーアナウンサー)
※要予約 (県文化振興課 TEL 076-225-1371)

9.30(日) 13:30～

記念講演会

「近代漆芸のあゆみ」

白石和己氏 (工芸評論家、本展監修)

▼ アクセス

【バス】

JR金沢駅東口(兼六園口)6番のりば
[兼六園シャトル] 乗車15分
バス停「県立美術館・成巽閣」下車 徒歩2分



松田権六《蓬萊之棚》
石川県立美術館蔵



松田権六《鷺蒔絵棚》
広島県立美術館蔵

松田権六
《蓬萊之棚》 《鷺蒔絵棚》
一挙公開!